



今月の聖語

しゅ おやし  
主と親と師との

三つの大事を

説き給へり

【主師親の三徳】

この三徳はお釈迦様が悟られたものです。主は秩序を、師は智慧を、親は愛情を、それぞれ意味します。この三徳によって安穩な社会を築き、生きとし生けるものへ授けたいと願われました。

「下山御消息」より

日蓮聖人御遺文

覚書

九月

- 一日 帯刑盆法要
- 二日 羅臼本格寺三十三回忌
- 二十三日 秋の彼岸法要
- バザー、ご協力有難うございました
- 二十六日 帯刑追善供養
- 二十八日 帯刑教誨
- 三十日 荒行僧壮行会（遠軽）



一 休 み

●「日蓮宗信行読本」より（拾い読み）●

第四章 日蓮宗の葬儀と追善供養

1 日蓮宗の葬儀と追善供養

(2) 亡き人への追善供養（ついぜんくよう）  
葬儀は、亡き人を靈山浄土へ送る儀式です。その後初七日忌、七七日満中陰忌（四九日）、百日忌、一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌、……五十回忌と亡き人の成仏を願う追善供養があります。私たちは何も持たず裸で此の世に出でて、また裸であの世に帰ります。でも、心に積んだ宝だけは持って行きます。更に、亡き人の幸せを願って行う供養の功德は亡き人に届くのです。ご住職共々に唱えるお題目の功德は、靈界で修行している亡き人にとって大きな

「胞子に感謝」

☆伊藤英人様、丸毛清美様、高谷正利様、篤志家様（お二人）  
バザー用の各種野菜ドッサリ 有難うございます  
☆布薩会と婦人会の皆様 寺院等の環境整備や秋の彼岸法要会諸準備、並びにバザー等々誠にありがとうございます

法華和讃

(五十一)

草も木も仏の種の山なれば

妙法華経の谷の鶯

南無妙法蓮華経

妙法和讃

ミニ私見

【仏の種の山】

生きとし生けるものだけでなく万物全てに仏の種があるという。まして身延の山には一木一草に仏の種が

【谷の鶯】

日蓮聖人の住まわれている西谷の鶯は、妙法華経とさえざるそう

編集後記

励ましとなります。この追善供養は、お釈迦様が示された教えの一つです。お釈迦様の弟子目連尊者は、神通力第一と言われていました。亡くなった自分の母が餓鬼の世界で苦しんでいるのを見つけました。どうすることも出来ず、お釈迦様に教えを請いました。すると、大勢の修行者に出来るだけの供養をし母の幸せを祈って頂きなさい。その功德がやがて母を救うであろうと諭されたそうです。追善供養には、故人の縁の方々が参列します。日頃のわだかまりや欲得を離れ、真心を込めて営むあなたの修行の場なのです。

◆緩和医療医の大津秀一さんの著「死ぬときに初めて気づく人生で大切なこと33」◆その中で「運に向き合う」「競争のみに受け止める」「仕事に固執しない」「自分が一番大変で無い」等33の事例を取り上げられている◆他の事例を含めてそれらの束縛から自分自身が解放された「自由になった」と感じる事によって◆心穏やかな時を過ごしていたように見えた」と述べています◆◆◆

◆山崎記◆

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
- ※「日蓮検定」
- ※「日蓮宗新聞」
- ※「日蓮と日蓮宗」
- ※「仏教語散歩」等々